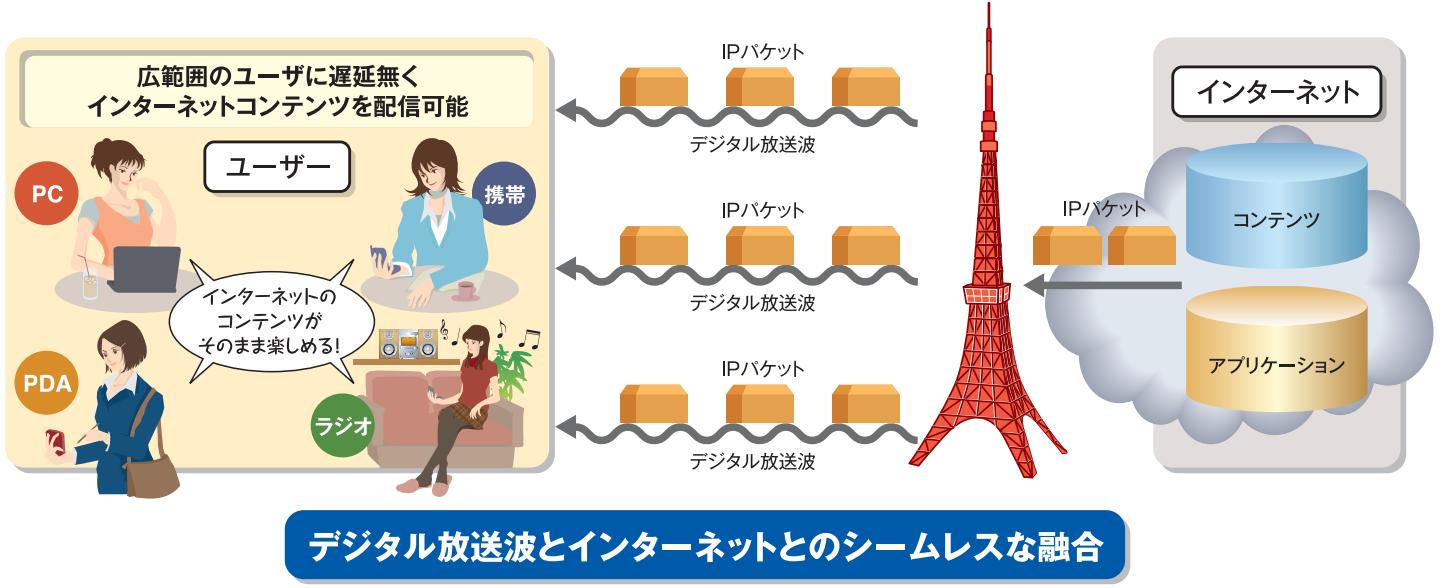


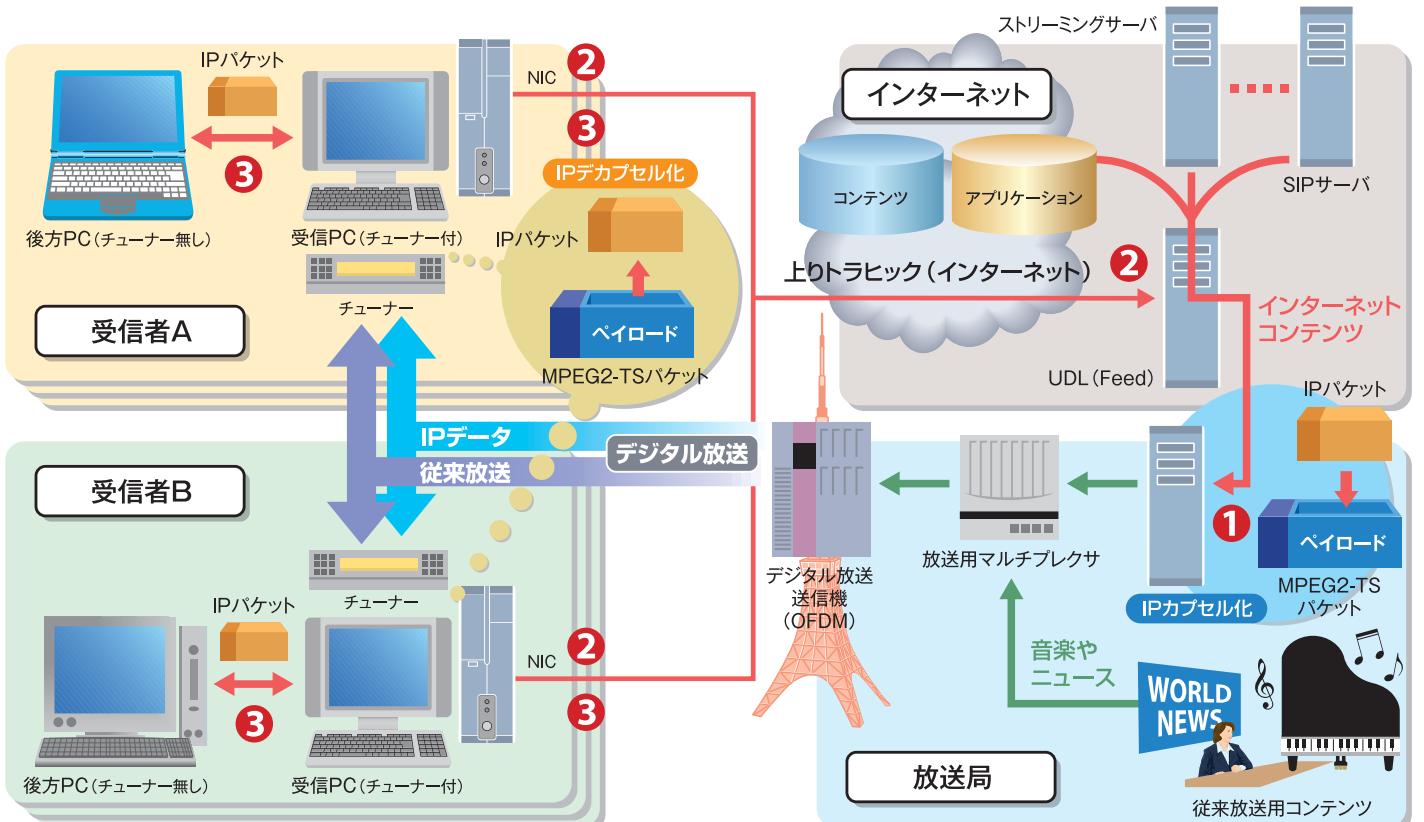
IP over デジタル放送とは？



- 特徴**

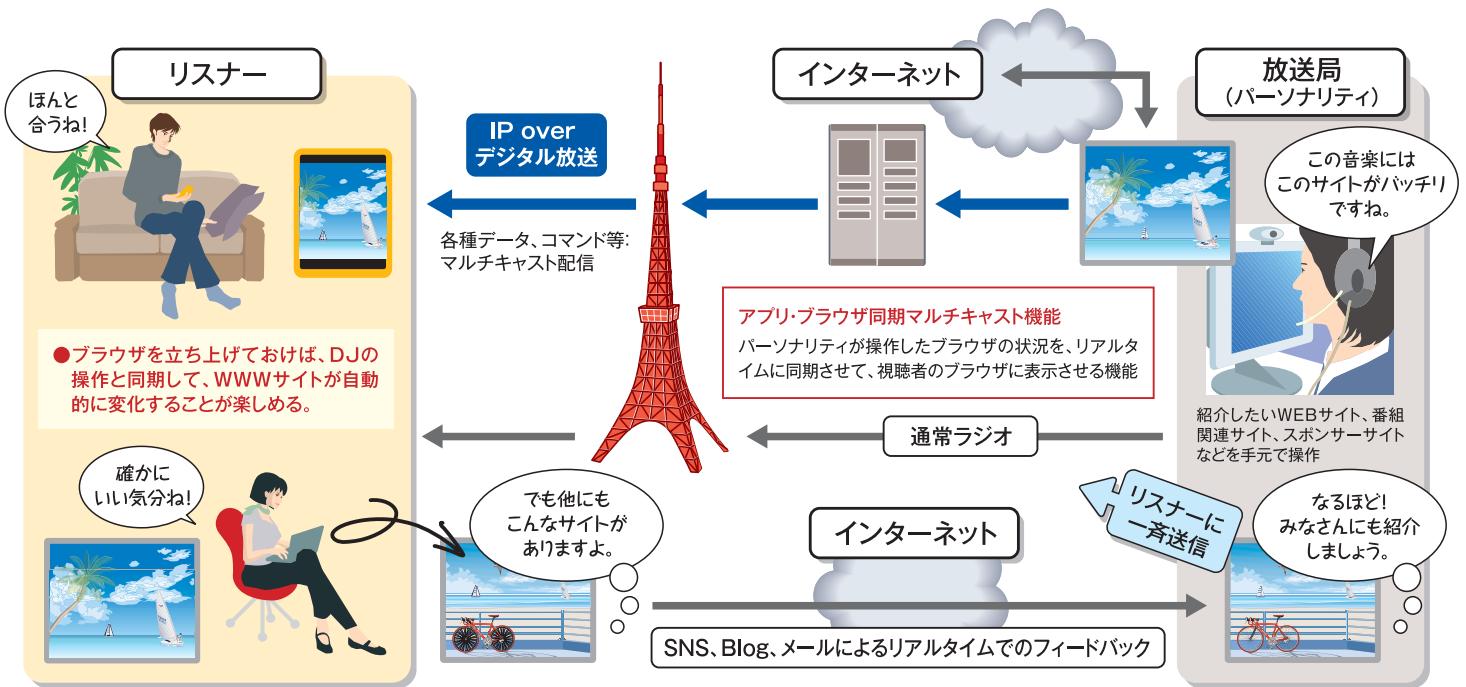
 - ①放送波(広域での一斉同報性・同期性)とインターネット(双方向性)の両者の強みを融合。
 - ②インターネット上のコンテンツおよびアプリケーションを改編することなく、放送波にて配信可能。
 - ③リアルタイムでの視聴者参加型の放送コンテンツ創造・配信による新コンテンツ流通サイクルの実現。

開発したシステム（構成図）



- ① インターネットなどIPネットワークのパケットをMPEG2-TSパケットのペイロードとしてカプセル化し、デジタル放送波で配信。従来の放送と同時に配信することが可能になる。
 - ② 受信装置は受信したMPEG2-TSパケットからIPデータを抽出。通信部に実装されたUDLR(UniDirectional LinkRouting:[RFC 3077準拠])により、デジタル放送のような片方向リンクでもIPによる双方向のコミュニケーションを仮想的に実現できる。
 - ③ 通信プロトコルはIPv4/IPv6の双方に対応。IPv6のプラグアンドプレイにより、屋内から車内など、移動先のネットワークに繋がった様々なネットワーク機器でコンテンツを視聴することが可能になる。

ネットサーフィン同期型ディスクジョッキー



エンターテイメント系の番組はもちろん、大規模災害等で地上系通信インフラが機能しないときの代替手段としても利用可能。
災害等でインターネットに直接接続できない機器にも一斉にホームページの情報(行方不明者の更新情報など)を提供できる。